

平成22年7月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成22年3月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ファーマフーズ
コード番号 2929 URL <http://www.pharmafoods.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部部长
四半期報告書提出予定日 平成22年3月12日
配当支払開始予定日(氏名) 金 武祚
(氏名) 中島 央雄

TEL 075-394-8600

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年7月期第2四半期の業績(平成21年8月1日～平成22年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年7月期第2四半期	434	11.9	45		14		16	
21年7月期第2四半期	388		121		110		115	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年7月期第2四半期	278.63	
21年7月期第2四半期	1,974.25	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年7月期第2四半期	2,418	2,270	93.9	38,639.94
21年7月期	2,650	2,291	86.5	39,010.66

(参考) 自己資本 22年7月期第2四半期 2,270百万円 21年7月期 2,291百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年7月期		0.00			0.00
22年7月期		0.00			
22年7月期(予想)					0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年7月期の業績予想(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	944	28.6	13		92		89		1,514.89

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年7月期第2四半期	58,750株	21年7月期	58,750株
期末自己株式数	22年7月期第2四半期	株	21年7月期	株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年7月期第2四半期	58,750株	21年7月期第2四半期	58,750株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緊急財政政策の効果等により、一部において景気回復傾向が見受けられるものの、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷が続くなど、長期的なデフレ傾向の様相を呈してまいりました。

当社をとりまく機能性食品の分野におきましても、消費者の節約志向・低価格志向がより鮮明となり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような厳しい経営環境下において、当社は、「医薬と食の融合」というコンセプトに基づき、事業部門を、機能性素材部門、機能性製品部門、バイオメディカル部門、及びLSI(Life Science Information)部門と定め、開発面では、医薬品事業等への展開を見据えた次世代製品の研究開発を実施してまいりました。また、営業面では、海外において、現在の主力製品である機能性食品素材を事業展開するための活動を、国内においては、消費者向け最終製品の販売の本格稼働に向け、OEM事業を立ち上げるための活動を実施してまいりました。

機能性素材部門におきまして、葉酸たまご事業関連では、テーブルエッグとして葉酸たまごを販売しているほか、飼料用サプリメントとして家禽用混合飼料(製品名：ファーマバイオミックス™)を販売しております。国内では、JA全農たまご株式会社から「しんたまご」及び「赤いしんたまご」が引き続き販売されており、それに伴うファーマバイオミックス™の売上も堅調に推移いたしました。また、海外においては、韓国・ブルムワン社のテーブルエッグの販売が引き続き好調であったことから、それに採用されているファーマバイオミックス™の売上も順調に推移いたしました。

創業当初からの当社基本技術を用いた鶏卵抗体(製品名：オポブロン™)につきましては、同製品が採用されているグリコ乳業株式会社の「ドクターPiroヨーグルト」や韓国・Maeil社の「gut」(ヨーグルト)が引き続き販売されており、堅調に推移いたしました。

ギャバ(製品名：ファーマギャバ™)につきましては、国内では、同製品が採用されております江崎グリコ株式会社の「メンタルバランスチョコレートGABA」等が引き続き販売されており、堅調に推移いたしました。また、海外では、台湾市場において飲料用途での販売が好調であったことや、中国市場において今春上市予定の商品採用に向けた販売を開始したこと等により、順調に推移いたしました。

ボーンペップ(製品名：BONEPEP™)につきましては、中国・亜華乳業社から中国市場で初めて同製品が採用されました「南山-金装中老年骨維粉ミルク」及び「南山-金培健全養粉ミルク」が発売されております。また、国内においても、ロート製薬株式会社の「セノビック」の販売が拡大されるなど、国内外ともに順調な販売実績となりました。

これらの結果、機能性素材部門全体では、売上高378百万円(前年同四半期364百万円、前年同四半期比3.8%増)となりました。

機能性製品部門におきましては、機能性素材の研究・開発から派生した消費者向けの最終製品として、サプリメント等を販売しており、売上高4百万円(前年同四半期6百万円、前年同四半期比27.6%減)となりました。

バイオメディカル部門におきましては、鶏卵抗体の技術に着目し、検査薬・医療食・メディカルデバイス製品等といった次世代製品の開発をすすめております。当第2四半期累計期間においては、医薬品事業等への足がかりとして受託業務等を行い、売上高10百万円(前年同四半期14百万円、前年同四半期比27.9%減)となりました。

LSI(Life Science Information)部門におきましては、食品メーカー・化成品メーカー等から各種素材・製品等に関して分析・精製品の作成等を行っております。当第2四半期累計期間においては、受注が集中したことから、売上高は40百万円(前年同四半期2百万円、前年同四半期比1310.9%増)となりました。

以上により、売上高は434百万円(前年同四半期388百万円、前年同四半期比11.9%増)と大幅に伸ばいたしました。また、売上総利益についても、利益率の改善を目標とした施策の効果により205百万円(前年同四半期136百万円、前年同四半期比50.6%増)となりました。販売費及び一般管理費については、251百万円(前年同四半期258百万円、前年同四半期比2.7%減)となり、営業損失45百万円(前年同四半期121百万円)となりました。さらに、歯周病バイオフィルム抗体の研究開発にかかる補助金収入等の営業外損益を計上しました結果、経常損失14百万円(前年同四半期110百万円)、四半期純損失16百万円(前年同四半期115百万円)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

資産につきましては、有価証券の減少等により、当第2四半期は前事業年度末に比べ232百万円減少し2,418百万円となりました。

負債につきましては、未払金の減少等により、当第2四半期は前事業年度末に比べ210百万円減少し147百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少等から、当第2四半期は前事業年度末に比べ21百万円減少し2,270百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前事業年度末に比べ157百万円減少し520百万円となりました。ただし、資金に含まれていない有価証券として確定利回り債券390百万円(うち、期間1年未満の債券299百万円)を有しております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、減価償却費やたな卸資産の減少等があったものの、売上債権の増加等により、34百万円の減少(前年同四半期は106百万円の減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、有価証券の取得等により、106百万円の減少(前年同四半期は503百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、長期借入金の返済により、15百万円の減少(前年同四半期は6百万円の減少)となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

現時点における通期の業績予想につきましては、業績が概ね予測どおりに進捗しており、平成21年9月11日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

また、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。様々な要因によって、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

今後、何らかの変化がある場合には適時・適切にお知らせいたします。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないものと認められるため、前事業年度において算定した貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

法人税等の算定方法

法人税等の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

固定資産の減損兆候の決定方法

減損の兆候を判定するに当たり、使用範囲又は方法について、当該資産又は資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化を生じさせるような意思決定や、経営環境の著しい悪化に該当する事案が発生したかどうかについて留意し、決定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	420,336	577,687
受取手形及び売掛金	187,856	125,525
有価証券	399,255	598,073
商品及び製品	74,327	93,233
仕掛品	4,990	5,005
原材料及び貯蔵品	10,998	12,870
その他	43,918	48,554
貸倒引当金	1,924	1,271
流動資産合計	1,139,757	1,459,678
固定資産		
有形固定資産		
建物	416,870	416,870
構築物	26,471	26,471
車両運搬具	10,160	10,160
工具、器具及び備品	180,270	180,270
土地	387,863	387,863
リース資産	12,905	12,905
減価償却累計額	231,372	211,237
有形固定資産合計	803,169	823,304
無形固定資産		
特許権	200	220
商標権	677	571
その他	406	423
無形固定資産合計	1,285	1,216
投資その他の資産		
投資有価証券	388,969	301,500
関係会社株式	4,900	4,900
破産更生債権等	2,364	2,364
長期前払費用	332	437
その他	80,849	60,331
貸倒引当金	3,582	3,404
投資その他の資産合計	473,833	366,129
固定資産合計	1,278,287	1,190,649
資産合計	2,418,045	2,650,328

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,170	39,021
リース債務	6,020	6,020
1年内返済予定の長期借入金	31,560	31,560
その他	60,970	257,841
流動負債合計	139,720	334,443
固定負債		
長期借入金	7,980	23,760
リース債務	248	248
固定負債合計	8,228	24,008
負債合計	147,949	358,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,299	1,563,299
資本剰余金	1,415,003	1,415,003
利益剰余金	646,450	630,080
株主資本合計	2,331,852	2,348,222
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,755	56,346
評価・換算差額等合計	61,755	56,346
純資産合計	2,270,096	2,291,876
負債純資産合計	2,418,045	2,650,328

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年8月1日 至平成21年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年1月31日)
売上高	388,410	434,594
売上原価	251,717	228,784
売上総利益	136,692	205,810
販売費及び一般管理費		
役員報酬	17,157	18,211
給料手当及び賞与	49,222	62,827
法定福利費	6,929	7,797
旅費及び交通費	9,789	10,158
支払手数料	26,659	29,655
減価償却費	8,327	6,263
研究開発費	87,288	77,365
貸倒引当金繰入額	8,019	500
その他	45,104	38,645
販売費及び一般管理費合計	258,498	251,424
営業損失()	121,805	45,614
営業外収益		
受取利息	5,831	7,413
補助金収入	13,389	17,915
その他	4,376	6,264
営業外収益合計	23,596	31,593
営業外費用		
支払利息	-	401
為替差損	11,158	-
貸倒引当金繰入額	-	331
その他	665	-
営業外費用合計	11,823	732
経常損失()	110,031	14,753
特別利益		
新株予約権戻入益	4	-
受取保険金	-	465
特別利益合計	4	465
特別損失		
固定資産除却損	4,020	-
特別損失合計	4,020	-
税引前四半期純損失()	114,047	14,288
法人税、住民税及び事業税	1,939	2,080
法人税等合計	1,939	2,080
四半期純損失()	115,987	16,369

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)
売上高	199,054	252,562
売上原価	123,037	119,942
売上総利益	76,017	132,619
販売費及び一般管理費		
役員報酬	8,800	10,683
給料手当及び賞与	25,747	30,871
法定福利費	3,209	4,712
旅費及び交通費	4,651	4,976
支払手数料	13,047	13,437
減価償却費	4,162	3,131
研究開発費	43,035	40,134
貸倒引当金繰入額	7,743	306
その他	18,855	17,290
販売費及び一般管理費合計	129,253	125,546
営業利益又は営業損失 ()	53,236	7,073
営業外収益		
受取利息	3,673	3,555
補助金収入	10,503	10,663
その他	2,829	4,790
営業外収益合計	17,006	19,009
営業外費用		
支払利息	-	176
為替差損	5,148	-
貸倒引当金繰入額	-	48
その他	316	-
営業外費用合計	5,465	225
経常利益又は経常損失 ()	41,695	25,858
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	8,611
新株予約権戻入益	4	-
受取保険金	-	465
特別利益合計	4	9,076
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	41,691	34,935
法人税、住民税及び事業税	976	582
法人税等合計	976	582
四半期純利益又は四半期純損失 ()	42,667	34,353

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年8月1日 至平成21年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失()	114,047	14,288
減価償却費	23,353	20,315
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,019	831
受取利息及び受取配当金	2,441	1,757
有価証券利息	4,654	6,366
補助金収入	13,389	17,915
支払利息	661	401
固定資産除却損	4,020	-
売上債権の増減額(は増加)	19,514	62,330
たな卸資産の増減額(は増加)	1,833	20,792
仕入債務の増減額(は減少)	12,789	2,148
その他の資産の増減額(は増加)	10,591	3,484
その他の負債の増減額(は減少)	2,226	7,220
その他	4,166	192
小計	111,964	54,624
利息及び配当金の受取額	5,137	7,165
補助金の受取額	4,675	16,067
利息の支払額	612	355
法人税等の支払額	3,518	3,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,282	34,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	10,564	-
無形固定資産の取得による支出	-	144
貸付けによる支出	-	23,000
貸付金の回収による収入	-	5,280
投資有価証券の取得による支出	55,000	90,114
有価証券の取得による支出	394,200	198,954
有価証券の売却による収入	-	200,000
その他	44,015	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	503,779	106,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	15,780	15,780
ファイナンス・リース債務の増加による収入	10,570	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	1,510	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,719	15,780
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,536	207
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	621,318	157,350
現金及び現金同等物の期首残高	1,231,246	677,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	609,928	520,336

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。